

# 年長児と交通体験に行ってきました

やまもも保育所 芳我 岳陽

12月14日（火）、年長児と交通体験に行ってきました。

時はさかのぼること1カ月前。今年はどこにどうやって行こうかと計画を練っていました。どうせなら行きたいところが良いだろうと思いたち、候補地を絞って子ども達に決めてもらうことにしました。議論をして決めることは、彼らの成長をより促すだろうし、能動的に行事に参加できるし、一石二鳥。

候補地は3つ。様々な科学的体験を遊びながら実感できる『千葉市科学館』。船という非日常の交通体験を提供してくれる『千葉港めぐり観光船』。そして、本物そっくりの信号や横断歩道があり、自転車やゴーカートに乗って遊べる『茂原・萩原公園』。

それぞれの場所の魅力について、大人が写真を交えながらプレゼンテーションしました。

さあ、どうだ！ どこもみんな行きたい場所だろう！ 悩め！ そして、熱くディスカッションするのだ！ その経験が君たちを逞しく成長させ……「公園だね」

え？ K君「だって汽車あるじゃん！」、S君「ここしかないね。決定！」

え？ もう決まりなの？…議論は？

そう、萩原公園には本物の汽車が展示されているのです。汽車といえば、我々大人にとっては、あの顔の付いたお喋り好きな英国製機関車ですが、彼ら子どもにとっては、刀で鬼を滅する剣士達が破壊した乗り物なんですね。そうよね。それは見たいよね。うん。いいよ…。というわけで、目的地は『萩原公園』に決定！

当日。朝は青空も広がり、冷たい空気が肌を引き締めるような冬晴れ。しかし、天気予報では午後から雨マークが…。一抹の不安に駆られながらも、お留守番の年中・小児に「いってきまーす！」と元気に手をふって出発。

まずは業務スーパー前のバス停からバスに乗りました。そして、東金駅に到着。

さあ、次は電車。東金線に乗り、まずは大網に向かいます。普段は電車に乗ることは滅多にない2人。切符を買った後は第一関門の自動改札です。大人が見本を見せた後、慣れた手つきで切符を通すK君。振り返って「どう？ これでいいんでしょ？」といった得意げな表情。うん。すごい。じょうずだね……ん？ 切符取らないKく…と言いかけたが早いか、なんと切符は自動改札に吸い込まれてしまいました！ 駅員さんに事情を説明すると、「いれてから5秒経つとすいこまれちゃうんだよね。言ってくればすぐにとるから安心してくださいね。」とのことでした。ああよかった。

そして、ホームで電車を待つ間はクイズタイム。

「どっちから電車が来るでしょうか？」「黄色い線はなんのためにあるでしょうか？」「電車は降りる人と乗る人、どちらが先？」などとやっている、間もなく電車が到着。



乗車すると途端に静かになった2人。座って後ろを振り向き、車窓からの景色を終始無言で眺めていました。大網で電車を乗り換え、新茂原駅に到着。ここから約10分の道のりを歩いていくと…萩原公園に到着！



園内に入ると、中央に鎮座する巨大な機関車が目に飛び込んできました。K君とS君の歩みが速くなっていきます。わかる。わかるよ。そのはやる気持ちが。君たちが恋焦がれていた夢の汽車だよ。幻じゃないんだよ？って、あれ？ 2人とも無料の自転車貸出コーナーに一目散。ねえ汽車は？ おーい！…「俺、この自転車！」「俺はこれ！」2人はもう自転車にまたがりスタンバイ完了。交通体験に行く前はあれほど楽しみにしていた汽車ですが、目に入った瞬間に「見る」という目的は達成されたようでした。

この日は平日で、午後から雨予報になっていたこともあり、お客さんもほとんどいませんでした。ほぼ貸し切り状態の公園を、2人で伸び伸びサイクリング。本物そっくりの信号や標識があるので、時折交通ルールのお話をしながら、自転車を満喫しました。

たくさん体を動かしたからか、2人ともいつもよりはやく「お腹空いた」との訴え。では、お弁当にしようということで、シートを芝生に広げ、お待ちかねのランチタイム。かなり気温は低かったのですが、この時間帯はまだ日が出ていて、和やかなお昼を楽しみました。

食後にアスレチックやゴーカートで遊んでいると、パラパラ…と小雨が降ってきました。雨雲レーダーを見ると、30分後には雨雲に覆われそうだったので、遊ぶ時間を短縮し、帰路につくことにしました。



帰りは予定より早く切り上げたので、大網駅で40分の待ち時間が発生。どうやって時間をつぶそうか考えていたところ、駅の構内に記念撮影用の電車のパネルがあったので、そこで写真をパチリ。

そのパネルは、よく見るとペットボトルの蓋でできていたんですが、それを見たK君が突然、「あー！これ、すっげーレアじゃん！」「うわー、これもだ！」と興奮し始めました。

どうやら、すいせん組で遊具として出しているペットボトルの蓋の中で、『やかんの麦茶』という蓋がデコピンすると一番飛ぶのだけれど、それが1つしかない為に、彼の中では【レアもの】という位置づけになっていたんですね。それがパネルの中に大量に。「うわ！これ見たことない蓋だぞ！」と熱狂するS君。40分の待ち時間もあっという間でした。

そして、どうにか東金駅に着いてからはすっかり雨模様。病院バスが来るまでかなり時間があったので、駅の近くの図書館に。そこでS君が「これ読んで」と絵本を持ってきました。筆者が読み始めると、時計の針の音が聞こえるほど静かに聞き入る2人。いつも午睡前に読み聞かせをしていることもあり、いい具合に眠たくなったS君。送迎バスに乗り込むと、ほどなくして夢の中へ。

いっぱい遊んでいっぱい歩いたので、さすがに疲れたことでしょう。やがてバスは浅井病院のロータリーに到着しましたが、運転手の松本さんが雨で濡れないようにと、保育所の門まで送迎してくれました。優しい！本当にありがとうございました。

今年の行事はこれで終わり。年長児たちはいよいよ就学に向けてラストスパートに入ります。来年はどんな成長を見せてくれるか、今から楽しみです。

